

仙台市立病院精神科病床の運営状況に関する
資料提供を求める理由について

- 精神医療センターの建替えについては、柔軟かつ多角的な検討を行っているところだが、令和元年度の「県立精神医療センターのあり方検討会議」の提言を踏まえ、高齢化等に伴う身体合併症の増加に対応するために、一般病院との緊密な連携について改めて検討する必要がある。
- 現状でも身体合併症患者の受入れについて連携している仙台市立病院とも一層の連携強化など協議させてほしいと考えているが、連携先病院の運営状況を把握することは、協議を行う上で重要なことと認識している。
- 仙台市立病院の精神科は、リエゾンを中心とした身体合併症対応により本県の精神医療において重要な役割を担われている一方で、病床稼働率が上がらないことが課題と伺っている。精神科病床は精神科救急や身体合併症に対応するため国へ協議し34床増床した背景があるが、その当時の身体合併症対応に関する想定と現状との差について把握・分析することで、より実態を捉えた連携体制等について協議ができるものと考えている。